

# 令和7年

# グラフで見る財政状況

美しい時を描くまち。

美幌町

BIHORO

Since 1923

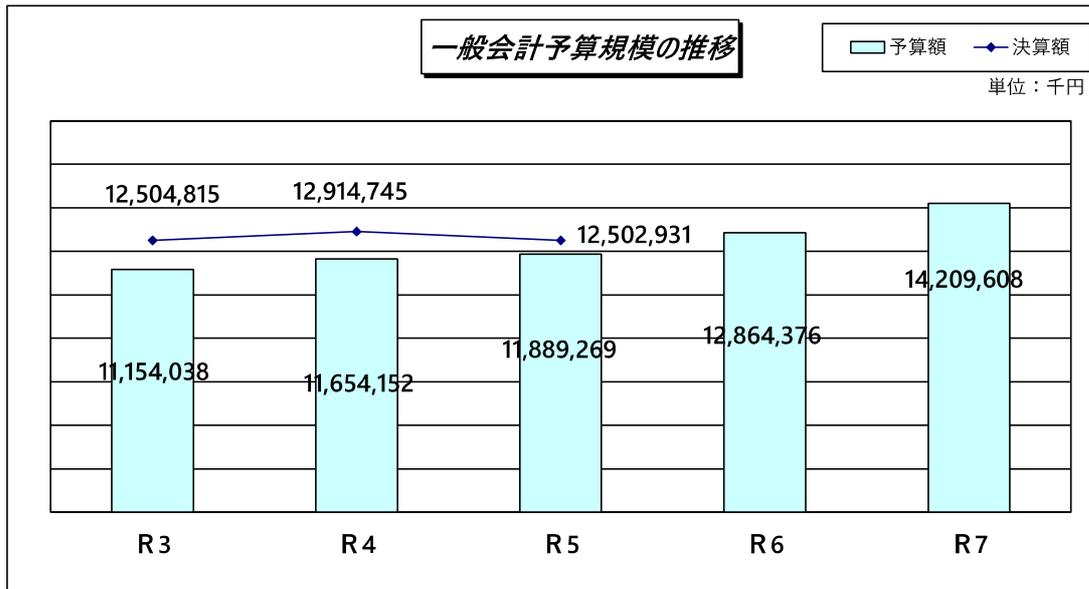
# もくじ

1	各会計予算規模の推移	1
2	令和7年度一般会計歳出予算の科目別配分状況	3
3	令和7年度一般会計歳入予算の内訳	4
4	町税の推移と内訳	5
5	管内市町村との税収の比較	5
6	標準財政規模と地方交付税額	6
7	基準財政収入額と基準財政需要額の推移	7
8	地方交付税の推移	7
9	投資的経費の推移	8
10	町債の償還額と借入額の推移	8
11	各会計の町債残高の状況	8
12	管内市町村の町債と基金残高の状況	9
13	財政状況	10
14	人件費の状況	13
	おわりに	14

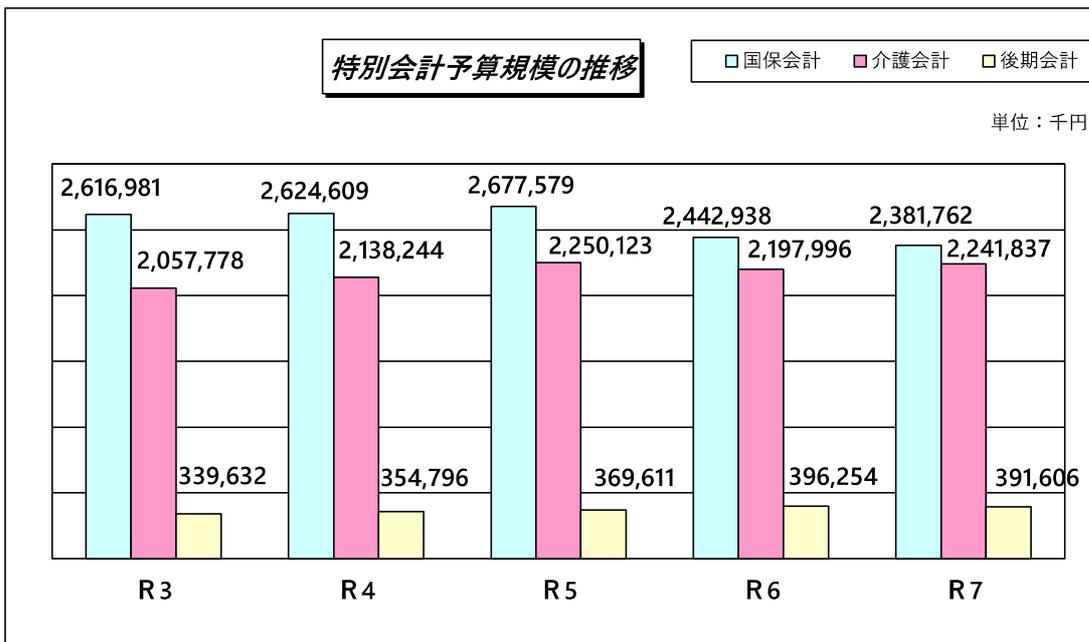
# 1 各会計予算規模の推移

令和7年度においては、高齢化の進展に伴う社会保障関連経費や物価高騰、労務・資材単価の上昇等により、更に厳しい財政状況が予想される中、第6期美幌町総合計画及び第3次美幌町財政運営計画に沿って、必要な経費を計上しました。

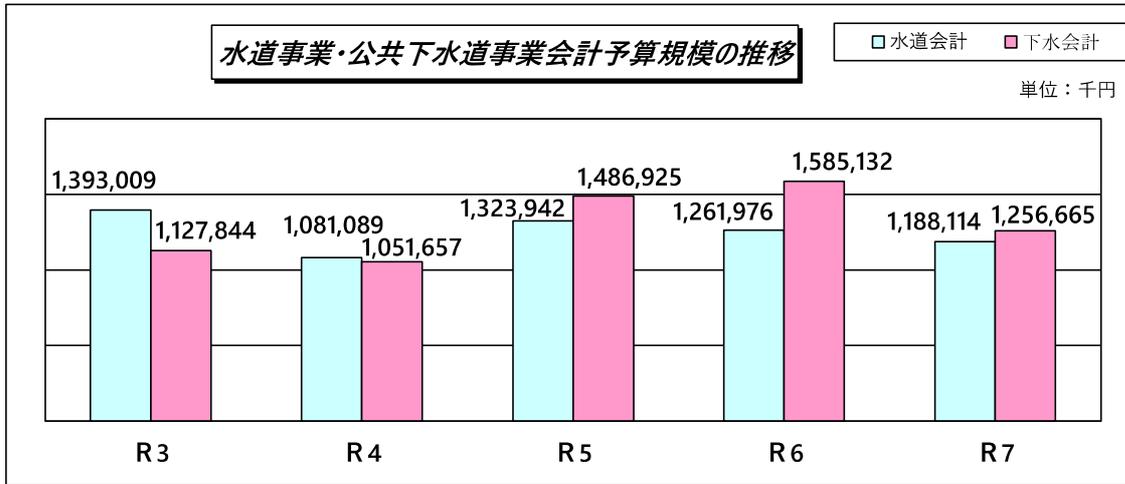
その結果、一般会計は過去最大の142億906万8千円、対前年比13億4,523万2千円、率で10.5%の増、特別会計50億1,520万5千円、企業会計56億4,272万8千円となり、全会計で248億6,754万1千円、対前年比14億789万6千円、率で6.0%の増となりました。



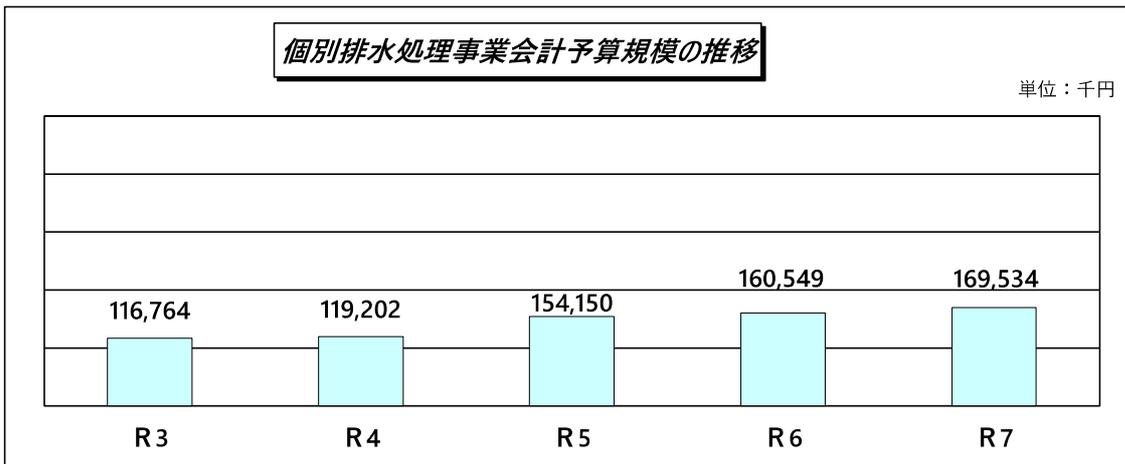
国民健康保険特別会計は、保険給付費（療養給付事業・高額療養費支給事業）、国民健康保険事業費納付金の減などにより、対前年比2.5%減の23億8,176万2千円、介護保険特別会計は、保険給付費（居宅介護・施設介護サービス給付事業）の増などにより前年対比2.0%増の22億4,183万7千円、後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療事務、後期高齢者医療広域連合負担事業費の減などにより、対前年比1.2%減の3億9,160万6千を計上しました。



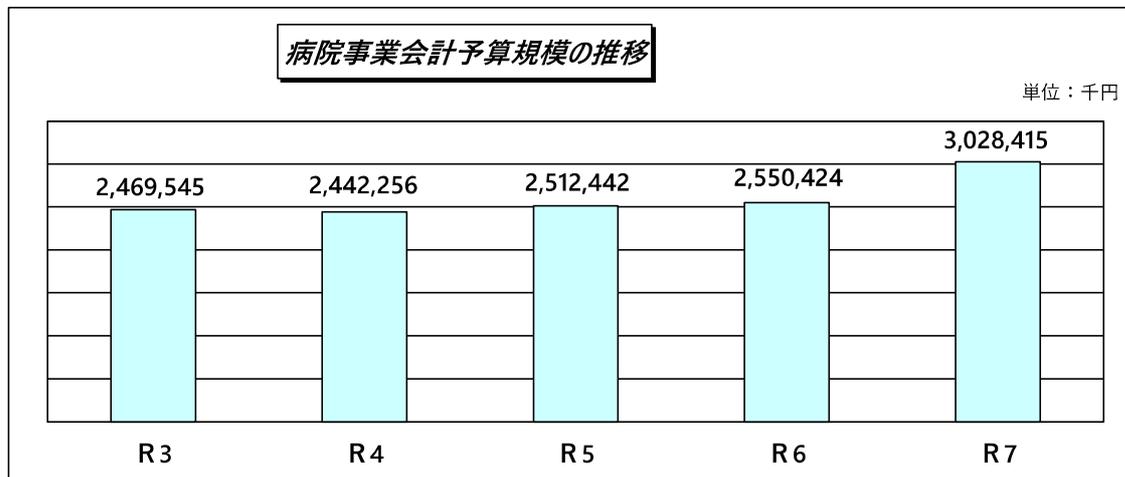
水道事業会計は、建設改良費（浄水配水設備費・水道施設事業）の減などにより、対前年比5.9%減の11億8,811万4千円、公共下水道事業は、建設改良費（終末処理場整備費）の減などにより、対前年比20.7%減の12億5,666万5千円を計上しました。



個別排水処理事業会計は、浄化槽維持管理経費及び建設改良費（浄化槽設置工事費）の増などにより、対前年比5.6%増の1億6,953万4千円を計上しました。



病院事業会計は、病院整備事業費（院内照明LED工事、電子カルテシステム更新等）の増などにより、対前年比18.7%増の30億2,841万5千円を計上しました。

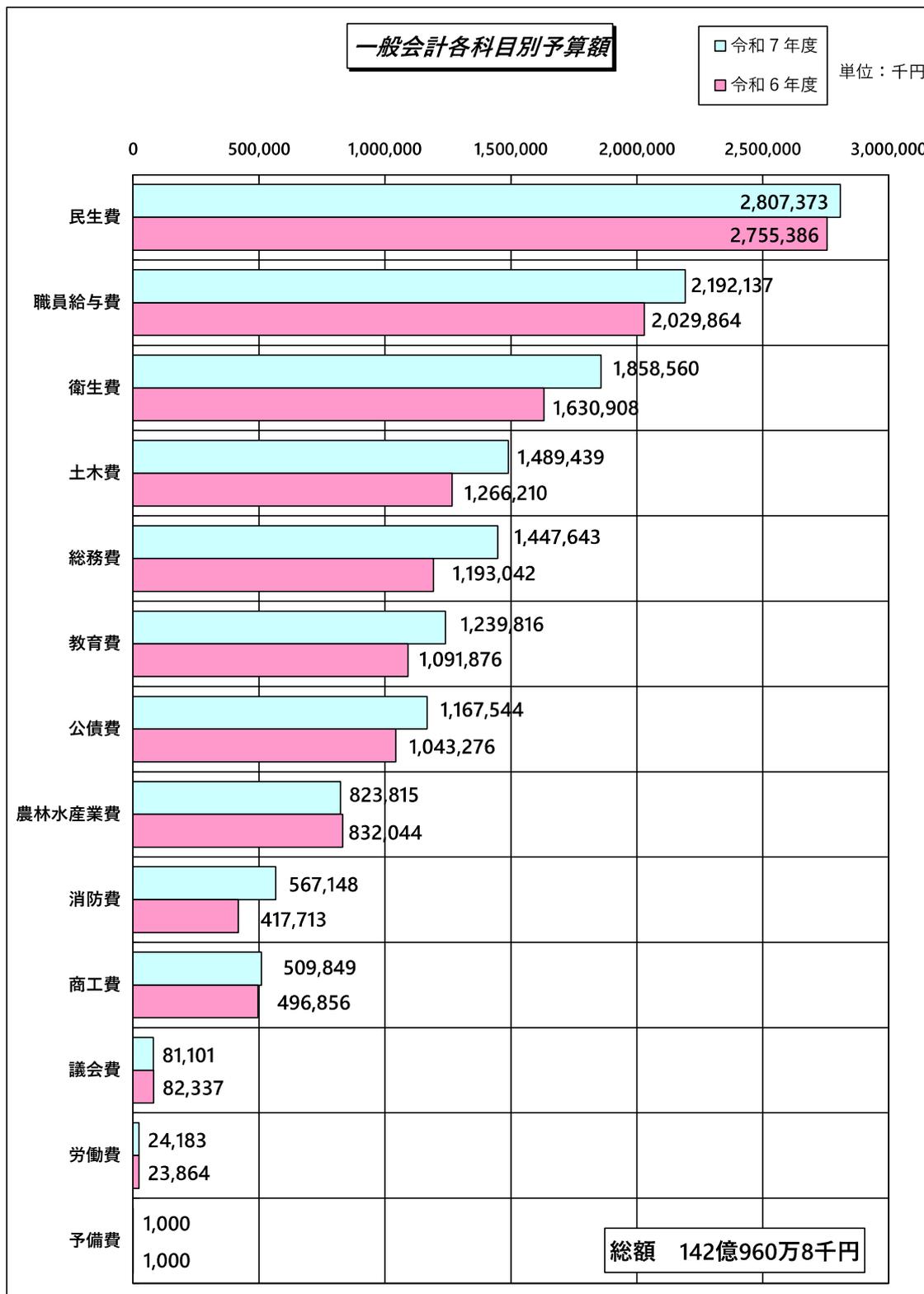


## 2 令和7年度一般会計歳出予算の科目別配分状況

令和7年度と令和6年度の一般会計予算の歳出を科目別に比較しました。

令和7年度は民生費が最も多く、次いで職員給与費の順になっています。

衛生費については、第IV期埋立処分場を整備するために要する経費等の増加により令和6年度から増額となっています。



### 3 令和7年度一般会計歳入予算の内訳

町の収入で一番多いのは、国から配分される地方交付税で45億円、次いで町税22億8,293万9千円、国庫支出金14億7,851万6千円の順になっています。

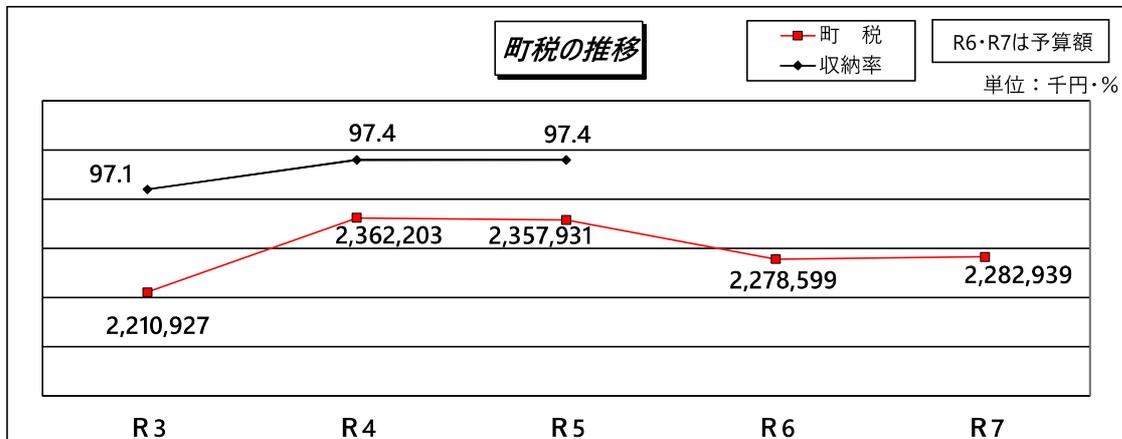
町債は、交付税措置の有利な町債を活用しながら公共施設等の整備をはじめ各事業に充当する財源として、13億2,350万円を計上しています。



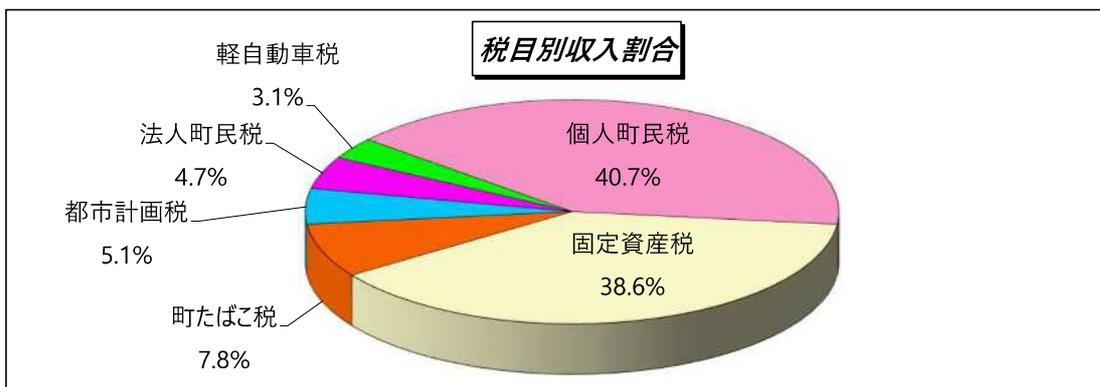
## 4 町税の推移と内訳

町税の推移は次のとおりであり、令和7年度は法人町民税の製造業、卸売業、小売業の増や固定資産税の増を見込み、対前年比0.2%増の22億8,293万9千円の予算額となっています。

自主財源である町税の収納率向上に向け、引き続き収納体制の強化に取り組んでいきます。

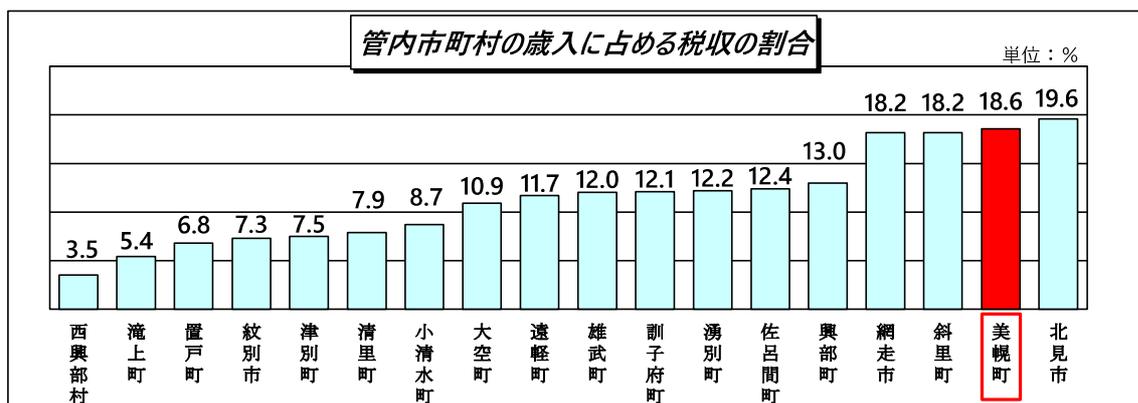


町税の内訳（令和5年度決算）は、個人住民税が40.7%を占めており、次いで固定資産税38.6%、町たばこ税7.8%、都市計画税5.1%、法人町民税4.7%、軽自動車税3.1%の順になっています。



## 5 管内市町村との税収の比較

歳入に占める税収の割合を令和5年度決算で比較してみると、18.0%とオホーツク管内市町村の中で2番目に高い割合となっています。



## 6 標準財政規模と地方交付税額

令和5年度の標準財政規模（地方交付税や町税など使い道が特定されていない収入の規模）と地方交付税額を表しています。

管内市町村の標準財政規模は、北見市が368億2,416万6千円と最も高く、美幌町は70億8,921万8千円と、3市1町（遠軽町）に次いで5番目となっています。

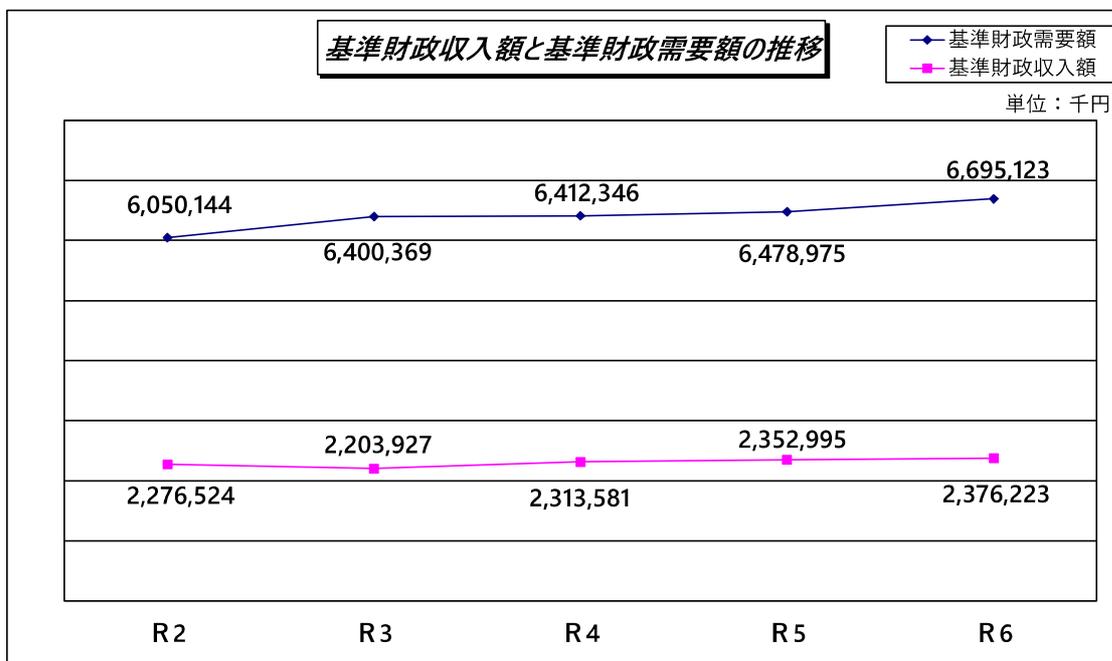
一方、管内市町村の地方交付税額では、北見市が204億1,485万8千円と最も高く、美幌町は45億6,866万8千円と5番目となっています。

なお、全道で泊村だけは、基準財政需要額（必要最低限の水準である一般的な行政サービスに係る経費）より基準財政収入額（町税等の収入額）が多いことから、地方交付税のうち普通交付税が交付されていません。



## 7 基準財政収入額と基準財政需要額の推移

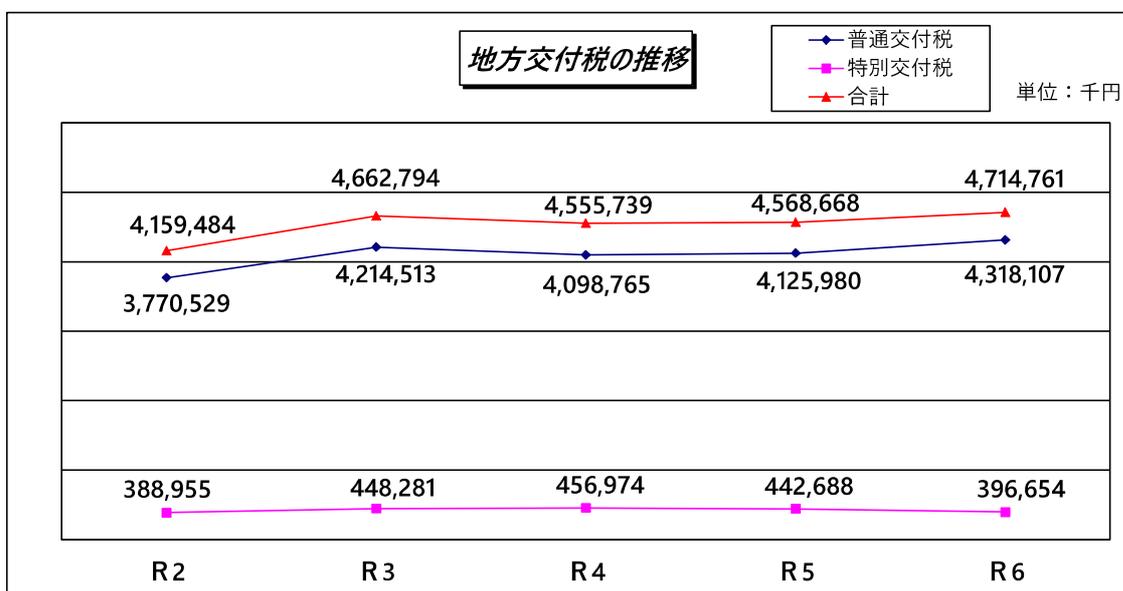
基準財政収入額とは、個々の地方公共団体が、標準的な状態において収入が見込まれる町税などを一定の方法によって算定した額を表し、基準財政需要額は、個々の地方公共団体が標準的な水準で行政を行うために必要な経費を一定の方法によって算出した額を表します。この差額が、地方交付税（普通交付税）として国から交付されます。



## 8 地方交付税の推移

地方交付税は、普通交付税と特別交付税の2種類に区分され、普通交付税は基準財政需要額が基準財政収入額を超える分について、地方公共団体に対し交付されるものです。

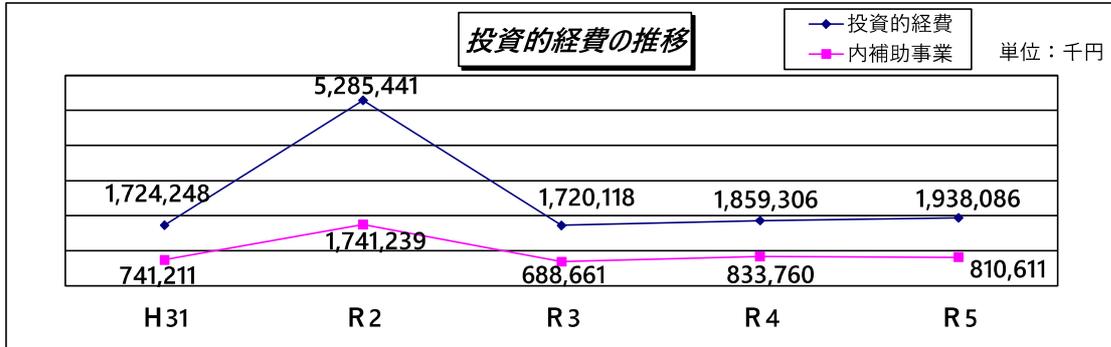
特別交付税は、その年に生じた災害等特別の事情により多額の経費がかかる財政需要に反映させるために、交付税総額の6%の範囲内で交付されます。



## 9 投資的経費の推移

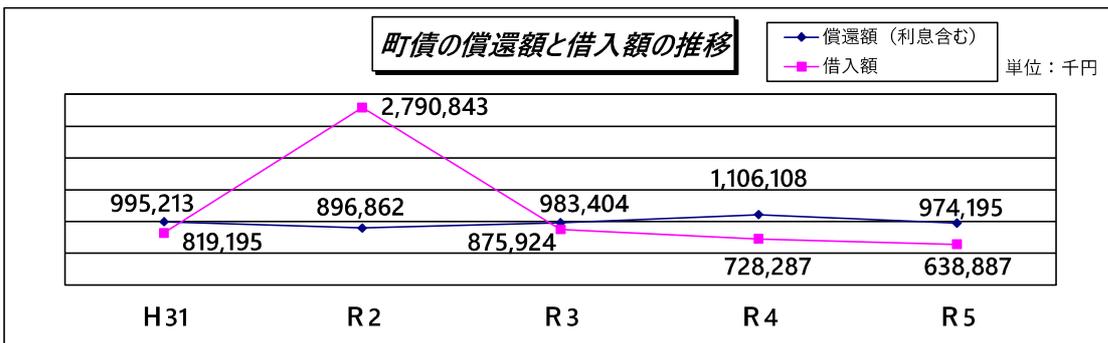
投資的経費（普通建設事業、災害復旧事業等）の推移をグラフにしました。

今後も、事業の必要性、優先度、事業効果などを十分検討し、後年度への財政負担を考慮しながら、必要な事業を推進します。



## 10 町債の償還額と借入額の推移

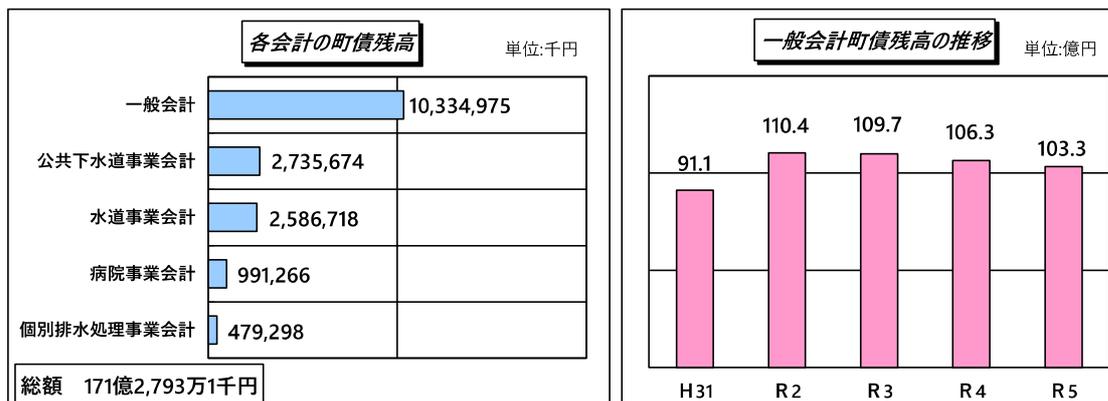
町債（借金）の償還額は、公的資金補償金免除線上償還（低利率の町債への借換）や新規発行の抑制により、平成16年度をピークに毎年減少しています。令和5年度は、新庁舎建設事業の完了等に伴い前年度より借入額が減少していますが、今後も事業の優先度や緊急性、後年度への財政負担を考慮しながら、将来にわたって持続可能な財政運営に努めます。



## 11 各会計の町債残高の状況

町債残高は、令和5年度末で美幌町全体で171億2,793万1千円となっています。

人口1人当たりでは96万2千円（前年度97万5千円）となります。（令和6年1月1日現在の人口より）。ただし、町債の中には地方交付税で補てんされる分があるため、借入金額がそのまま町民の負担となるわけではありません。

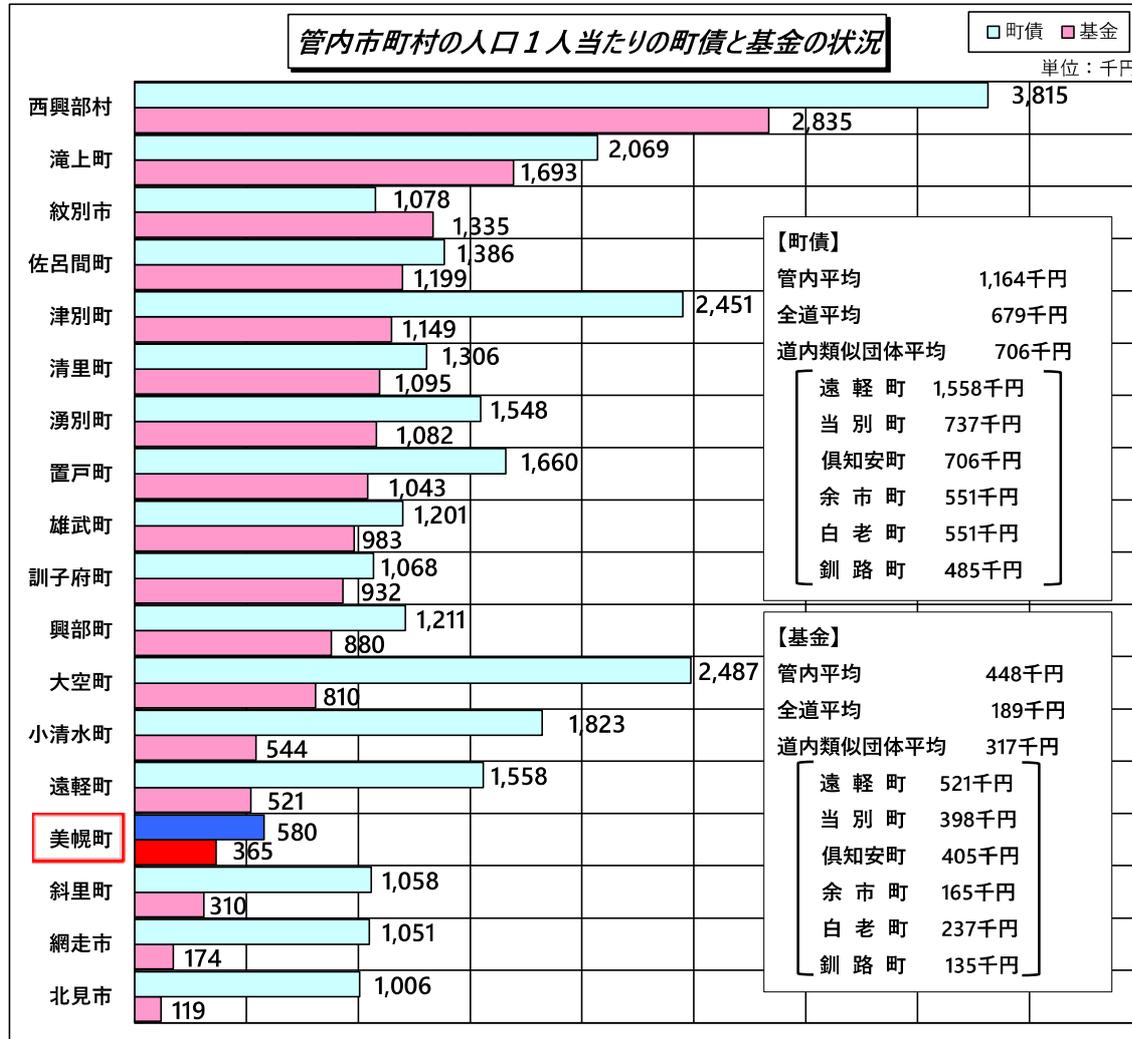


※令和6年1月1日現在人口：17,813人

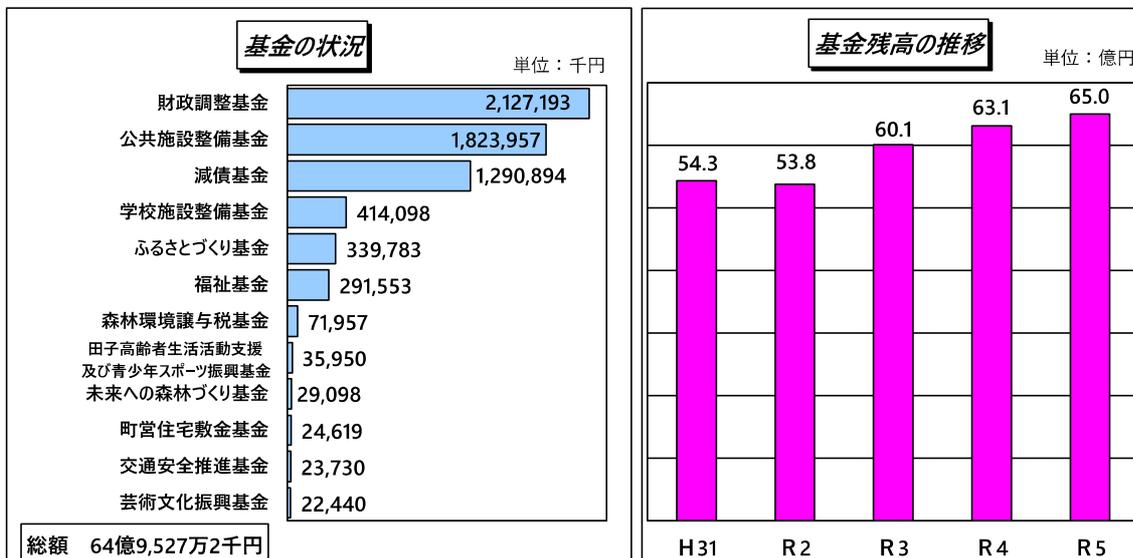
## 12 管内市町村の町債と基金残高の状況

令和5年度決算の管内市町村の一般会計における人口1人当たりの町債（借金）と基金（貯金）の残高は、次のとおりです。町債は58万円、基金は36万5千円となっており、町債は管内の市町村で一番低く、基金の額は15番目となっています。

※一般会計分。人口は令和6年1月1日現在



美幌町の基金の種類と金額は、令和5年度末で次のようになっています。



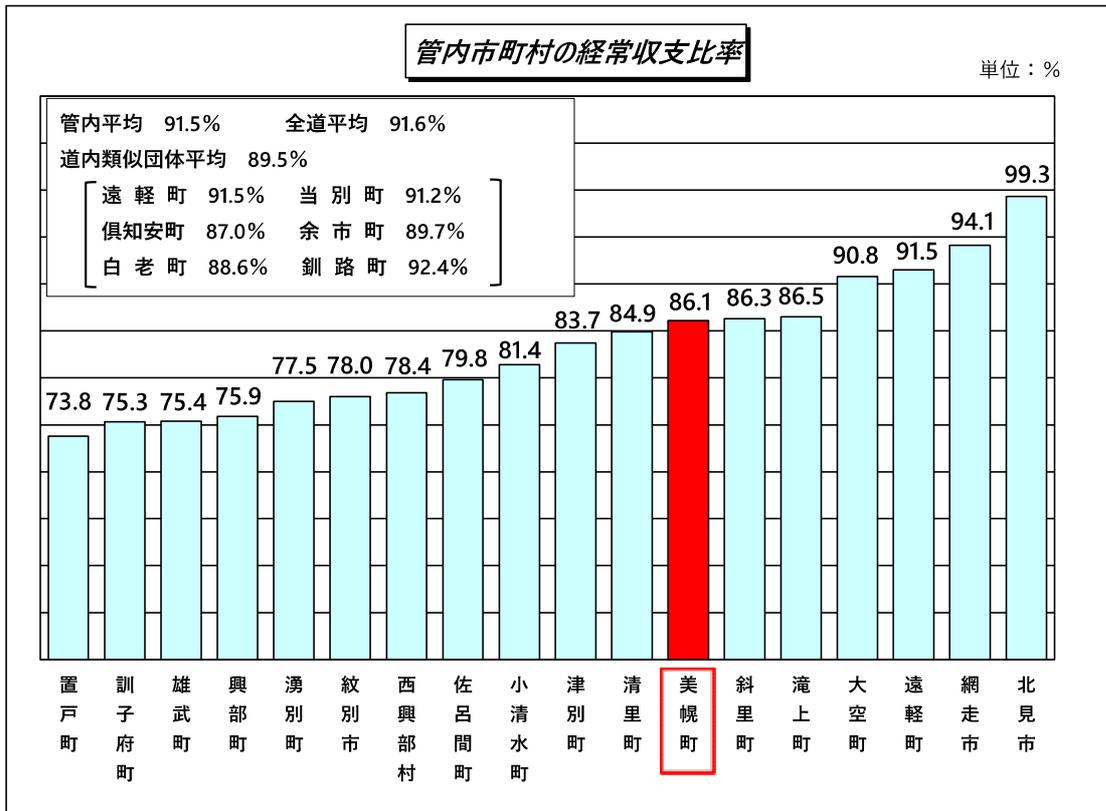
### 13 財政状況

○ 経常収支比率の状況

財政状況を把握するための指標の一つに「経常収支比率」があります。これは、人件費や施設維持管理費など毎年決まって支出する金額（経常経費）を、町税や地方交付税など毎年決まって入ってくる金額（経常的収入）で割り返したものです。

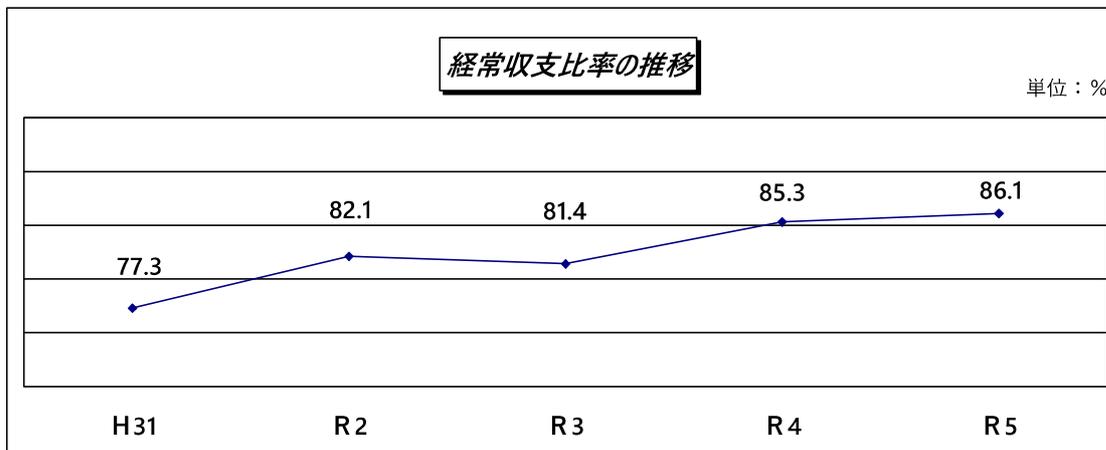
例えば、この比率が80%であれば、その年に自由に使えるお金は20%となります。したがって、この比率が低いほど、様々な事業にお金を使えるということになります。

令和5年度の管内市町村の状況は次のグラフのとおりですが、美幌町は86.1%となっており、管内平均（加重平均）の91.5%より低い値となっています。



美幌町の経常収支比率の推移は、次のとおりとなっています。

今後もさらなる経常経費の抑制と税収等の財源確保に努めます。

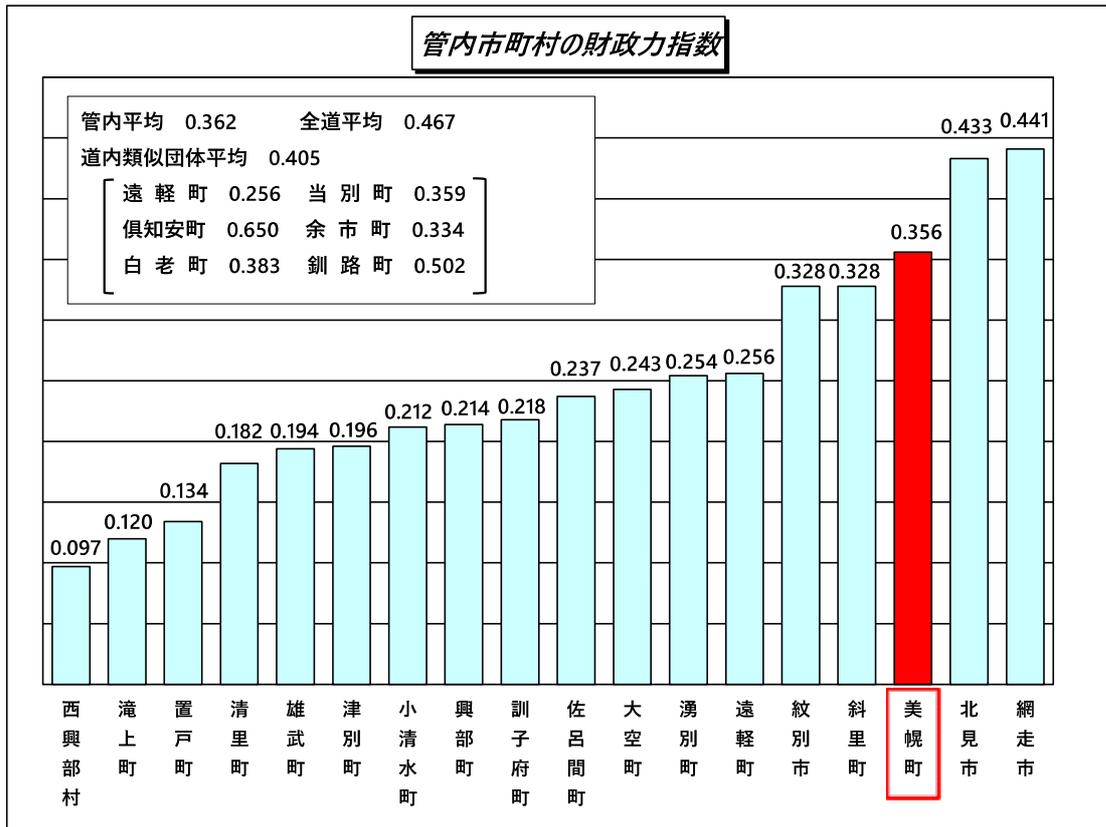


○ 財政力指数の状況

その町の人口や面積に応じて標準的にかかるお金に対して、標準的な状態において収入が見込まれるお金がどの程度であるかを示す目安が「財政力指数」です。

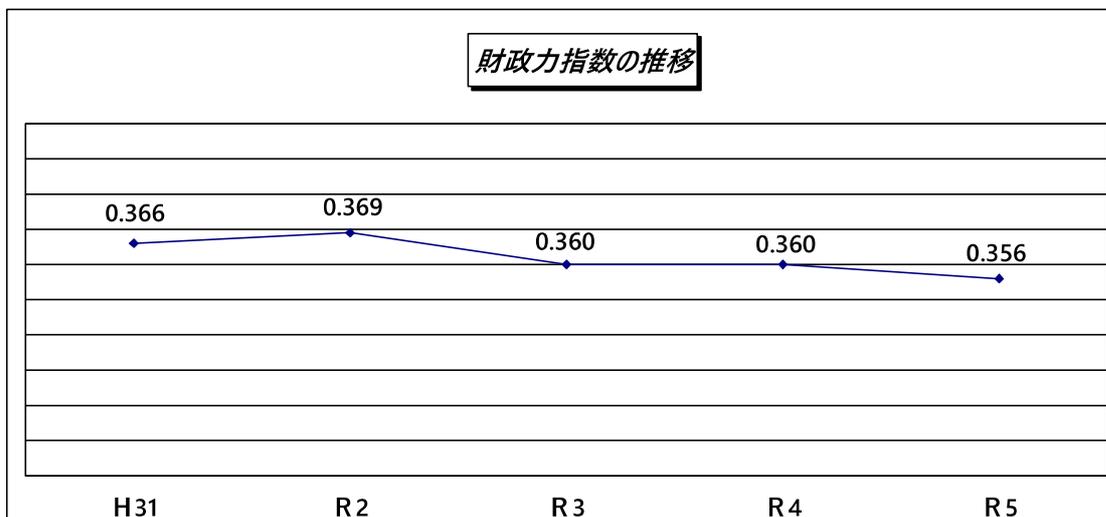
これは、町の体力を計る基準となるもので、例えば、指数が1であれば100%自分たちのお金で運営できており、0.5であれば経費の半分を自分たちのお金でまかなっていることになります。

令和5年度の管内市町村の状況は次のグラフのとおりですが、美幌町は0.356で管内平均（加重平均）の0.362より低いですが、北見市、網走市、に次いで3番目となっています。



美幌町の財政力指数の推移は、次のとおりとなっています。

過去の最高数値は昭和59年の0.406ですが、近年は0.35～0.37の間で推移しています。



○ 公債費負担比率の状況

一般財源収入総額のうち、公債費に充てられた一般財源の割合を示す指数で、15%を超えると警戒ライン、20%を超えると危険ラインと言われています。令和5年度決算では、美幌町は10.7%となっています。

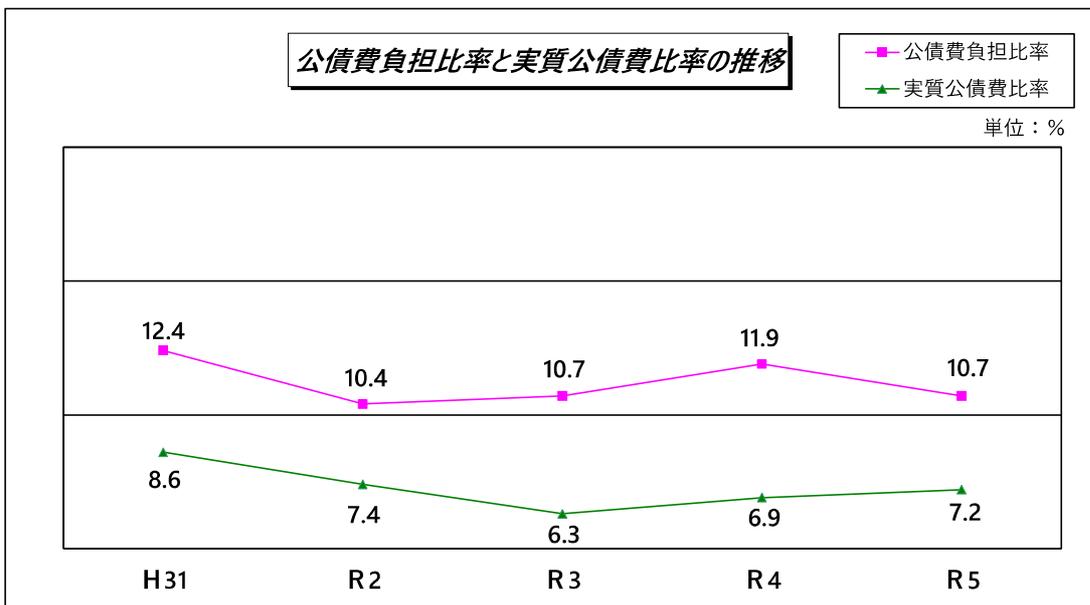
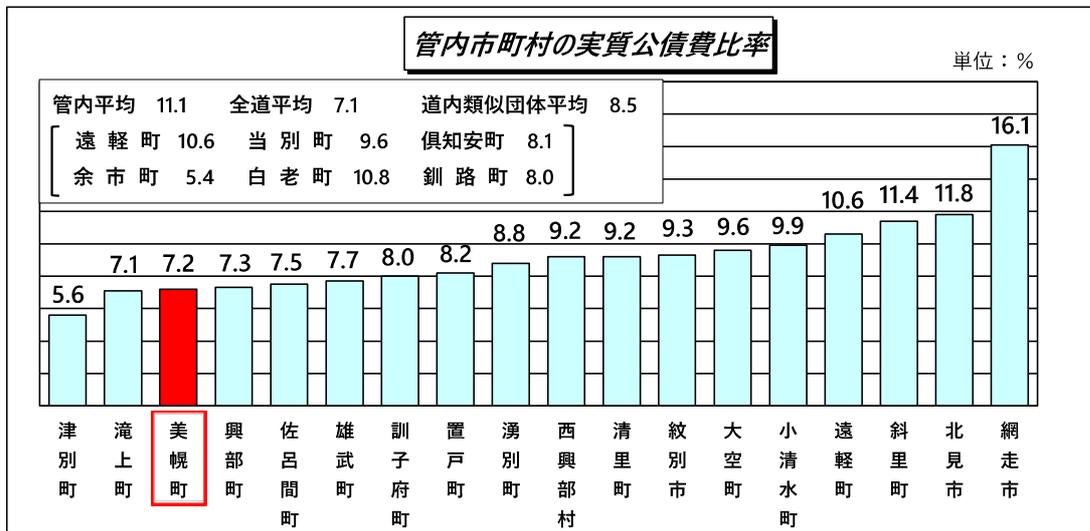
○ 実質公債費比率の状況

普通会計における町債の元利償還金のほか、公営企業会計及び一部事務組合等における町債の元利償還金に対する普通会計からの負担金や償還金的な債務負担行為額なども加えた実質的な公債費指標であり、25%が早期健全化団体、35%が財政再生団体となる基準となっています。

令和5年度決算では、美幌町は7.2%で管内平均（加重平均）、道内類似団体平均より低い数値になったものの全道平均より高い数値となりました。今後も特別会計を含めて歳入確保、歳出削減、町債の新規発行を抑制するなど、健全で持続可能な財政運営を行っていきます。

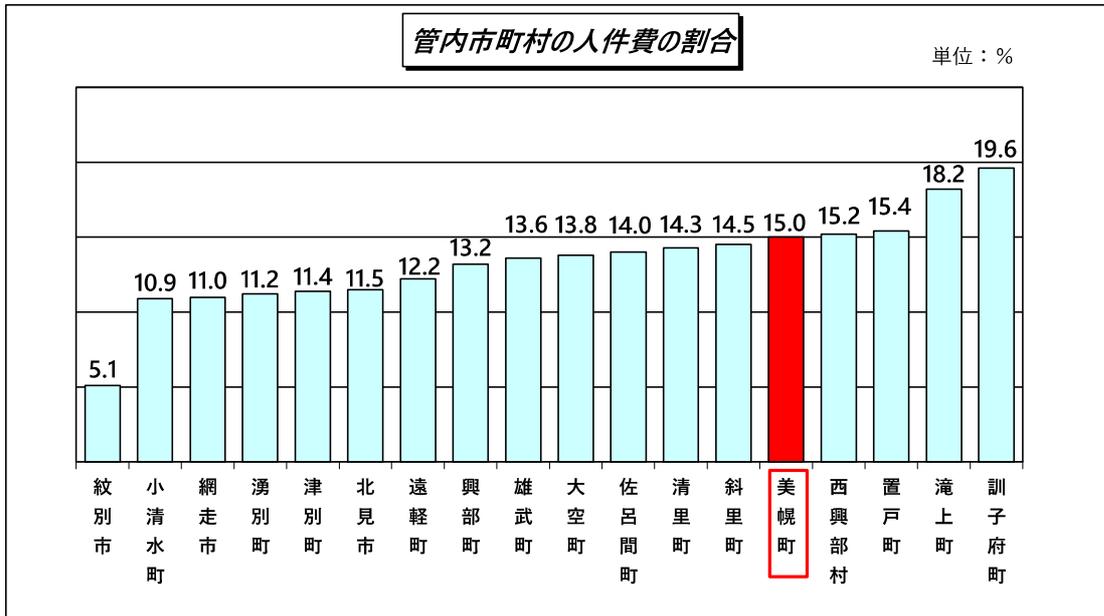
※早期健全化団体：破綻の一手手前の状況で早期に財政の立て直しが必要な団体

※財政再生団体：いわゆる「赤字再建団体」で破綻状態に陥った団体



## 14 人件費の状況

歳出総額に対し、職員給与費・議員報酬などの人件費がどのくらい占めているかを見ますと、令和5年度決算では、美幌町は15.0%と管内で割合の高い方から5番目に位置しています。

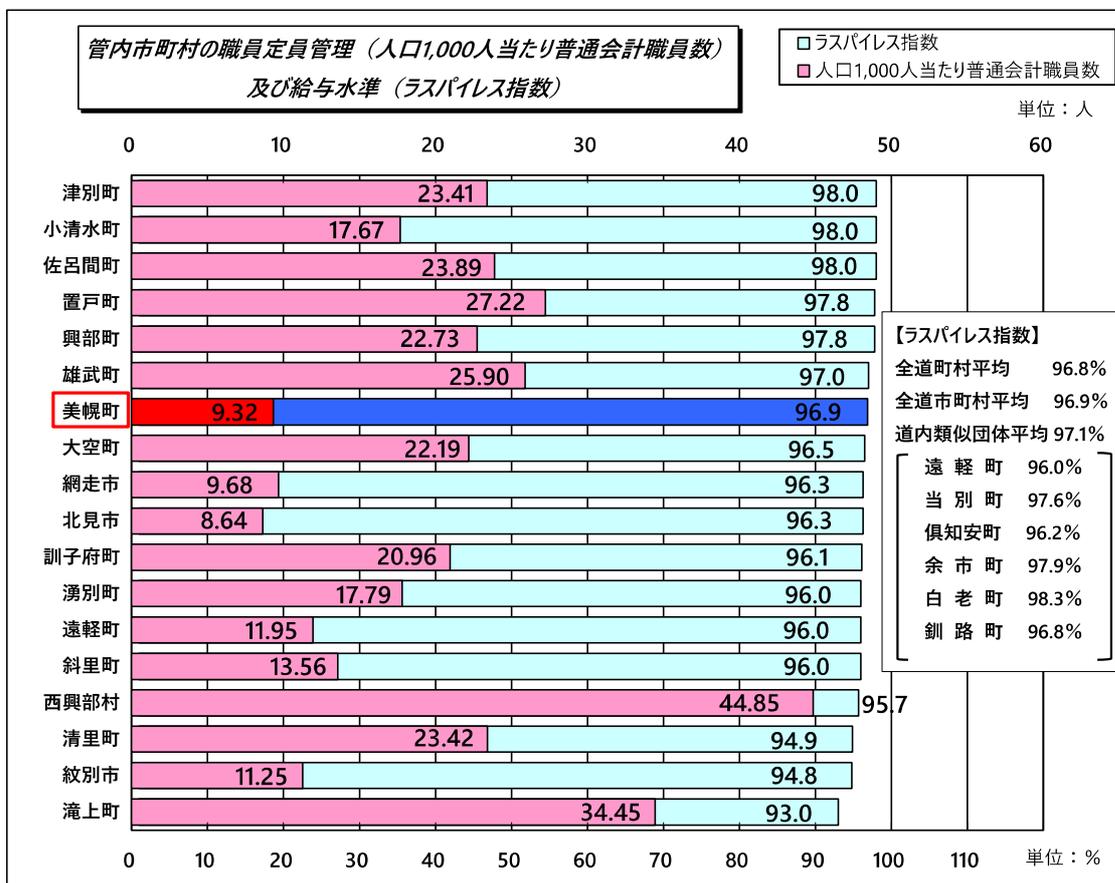


美幌町の人口1,000人当たりの普通会計職員数は9.32人となっています。

また、給与水準（ラスパイルズ指数）は96.9%となっており、全道町村平均を上回っています。

※普通会計職員数及びラスパイルズ指数は、令和6年4月1日現在

※ラスパイルズ指数...地方公務員と国家公務員の平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経験年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。



## おわりに

本町の財政状況は、「第3次美幌町財政運営計画」に基づき、財政の健全化に向けた取り組みを強化してきた結果、人件費及び委託料の増額など物件費の上昇に伴う経常収支比率の増加があったものの、その他の指標や基金残高において目標とする数値を数値を達成し、概ね健全財政を維持することができました。しかしながら、人口減少・少子高齢化のさらなる進展による将来的な税収の伸び悩み、地方交付税の縮減など、歳入の確保が厳しさを増す一方で、不安定な世界情勢の影響によるエネルギー価格上昇、物価高騰及び人件費の上昇による諸経費の増加、老朽化した公共施設の整備、高齢化の進展による社会保障関連経費の増加などにより、今後においては、厳しい財政状況が予想されますが本町の最上位計画である「第6期美幌町総合計画」に搭載された事業の着実な推進に努めるとともに、健全な財政運営と住民福祉の向上に努めてまいります。

未来の「びほろ」を次世代につないでいくため、財政の健全化に向けた取り組みを一層強化し最大限の努力を重ねて参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 令和7年グラフで見る財政状況

(令和7年5月作成)

※本書は、地方財政状況調査（決算統計）、各会計決算書、国勢調査、オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課市町村係提供資料等に基づき作成しています。

(お問合せ先) 美幌町役場 総務部財務課財務グループ

電話：0152-77-6530（直通）

FAX：0152-72-4869

メール：zaimug@town.bihoro.hokkaido.jp